



# 感染症週報



## 小笠原での流行状況

第26週（6月23日 から 6月29日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

父島では夏風邪が増えています。

母島 COVID-19の報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

## 東京都全体での流行状況

第25週（6月16日～6月22日）

### 【警報・注意報】

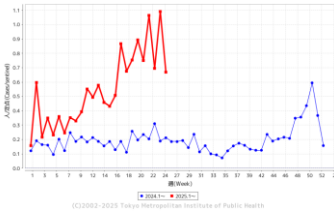
なし

### 【ピックアップ】

★高い水準を維持しています

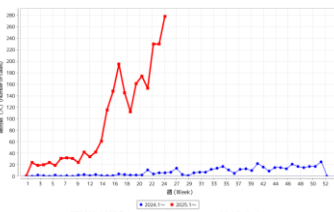
・水痘

（定点患者報告数 0.67）



・百日咳

（累計報告数 2,344例）



★例年より高い水準で推移しています

・伝染性紅斑

（定点患者報告数 0.75）

## 感染症メモ

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、以前は関西以西での発生が中心でしたが、マダニの分布拡大や気候変動の影響により、感染地域は年々北上しています。2025年5月には、茨城県で飼い猫がSFTSを発症し死亡しました。関東地方でペットのSFTS感染が確認されたのはこれが初めてです。夏にかけてマダニの活動が活発になるため、今後の感染拡大に一層の注意が必要です。

## SFTS 重症熱性血小板減少症候群

### 原因と感染経路

病原体はSFTSウイルスです。ウイルスを保有しているフタトゲチマダニなどのマダニ※に直接咬まれること、もしくはマダニに咬まれて感染した動物の体液に触れることで感染します。また、感染患者の血液や体液との接触でも感染することがあります。

※屋内に生息するダニ（コナダニ、チリダニ）は、野外に生息するマダニとは種類が異なり、この疾患とは関係ありません。

### 症状

潜伏期間は6日～2週間程度です。主な症状は発熱と消化器症状（おう吐、下痢など）で、倦怠感、リンパ節の腫れ、出血症状も見られます。患者は高齢者が多く、致死率は10～30%と報告されています。

### 治療

臨床的に有効性が確立された抗ウイルス薬はまだなく、症状に応じた対症療法が行われます。

### 予防のポイント

有効な予防接種はありません。**予防のためには、野外でマダニに咬まれないようにすることが重要です。**

場所：草むらややぶなど、マダニが多く生息する場所に入る場合は注意

服装：長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくする

虫除け剤を使うのも補助的な効果があります

マダニの除去：吸血中のマダニに気づいたら、無理に取り除かず医療機関を受診する

感染者との接触：血液、体液、排泄物との直接的な接触を避ける



SFTSVに感染した動物から人が感染することもあります。野生動物や衰弱している動物には触らないようにしましょう。

感染を予防するために、動物を触った後は必ず手洗いを行い、動物に口移して餌を与えるなどの過剰な接触は避けましょう。飼育している動物にマダニがついていないか日頃から確認し、健康状態が悪い場合は動物病院に相談してください。



詳しくはこちらを  
チェック

マダニにご注意！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所



習慣にしよう！